

YMCA

Nov

No. 622

月刊 The YMCA 付録

編集・発行 / 日本 YMCA 同盟 東京都新宿区本塩町7番地

大阪青年 発行：末岡祥弘 編集：大阪 YMCA 広報室

〒550-0001 大阪市西区土佐堀 1-5-6

TEL06-6441-0894 FAX06-6445-0297

URL: http://www.osakaymca.or.jp/

(年10回発行) 1947年10月27日 第3種郵便物認可

大阪青年



大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人のびとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。
- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人のびとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

コミュニティづくりとYMCA

桃山学院大学社会学部

学部長

石田易司

コミュニティの現状

地域社会が崩壊しかかっている。女性会(婦人会)はほとんど解散状態だし、全国の老人クラブでは昨年1年間で会員が20万人減ったらしい。100パーセント加入を前提にしている町内会(自治会・町会など)ですら、内閣府の統計では全国で90パーセントを割っているし、都会では50パーセントに満たない地域もある。

コミュニティとは

「コミュニティ＝地域」というのが日本では当然のように使われている

が、もともとは決して地域を表す言葉でもなかった。一般にコミュニティという言葉には二つの要素があるといわれている。一つが「帰属意識」。もう一つが

助け合い・支え合いである。仲間の困った課題を、できる範囲で何とかしようという意識である。

地域には元来こうした意識が働いているものであるが、現在のように、どんどん増えている一人暮らしや寝に帰るだけの居住地域にはこうした意識が働くはずもない。

地域福祉への流れ

そうした地域のかかわらず、

日本の福祉は2000年の社会福祉法の成立を機に、施設福祉から地域福祉にシフトする方向性を打ち出した。1981年の国際障害者年に言われた「ノーバライゼーション」の実現のために、施設からの「地域移行」が、各市町村の障がい者福祉計画の一つの目玉になっている。しかし、地域が半ば崩壊している現状では、この理想の実現はとても難しいのである。

認知症高齢者を核に

例えば、コミュニティ・ソーシャルワーカーが試行されている。専門家のもとに新しい居住地域を福祉コミュニティに変えようというのである。「認知症高齢者サポーター100万人キャラバン」というものを厚生労働省が始めて5年になる。認知症という障がい核に、地域づくりをやり直そうというものである。

一方、1998年に特定非営利活動促進法ができ、いわゆるNPOによる地域の作り直しが促進されることになった。テーマ型といわれるこのボランティア活動は、従来の伝統的なエリア型の地域づくりとは異なる方法を日本社会に提案した。

YMCAへの期待

さて、YMCAは各地のブランドにおいて、地域の活動に取り組んでいるが、私はYMCAは元来テーマ型の活動団体だと思っている。キャンプなどはこの典型である。狭い居住地域を飛び出して、自然の中でさまざまな目的を持つ活動を展開しているのである。その結果、その体験を持つ人々が、世界中のいろんな場所で居住地域を超えて、YMCAの旗印の下、支え合いの活動を展開している。小さな一人の思いが世界中に広がることこそ、YMCAの活動の特徴だろう。創造力豊かなYMCAのテーマ型の活動に、新しい地域づくりを期待したい。

地の塩

▼今年の7月に、スリランカを訪問した。コロンボから3時間ほど車で北上すると、世界遺産のシギリヤという所がある。これは5世紀後半にシ

ハラ王カッシャパが建てた岩の上の王宮跡である▼岩といってもジヤングルの中に突然、巨大な岩山が隆起しており、まるで航空母艦が森の中に出現したように思えた。この岩山の頂上に宮殿を建てた王様は、ローマと同じく水を制して栄えたのである▼スリランカは雨季と乾季があり、雨季に降る雨を山の頂上で貯め、それを巧みに排水ポンプを岩の中にくりぬいて水路を作った。途中で睡蓮の咲く池をいくつも作り、上からの水圧を利用して噴水を作り、またその水を下にある町の灌漑用水としたのである。その光景は壮大であり、美しかった▼1500年も前に水を制する卓越した文化と技術を持っていた文明が、あつという間に滅びたのである。それは権力を欲する戦いにより、兄弟からの攻撃を恐れ、自ら王が命を絶つた為である▼頂上の王宮に登る途中の階段の前には、エジプトのピラミッドのようにライオンの足が階段の横に掘られている。たくさんの人を使いながら権力をほしいままにした人間は、お金と権力は自らの手の中に入れることができたが、父親を殺した罪の意識、兄弟によって復讐されるのではないかとという恐怖をぬぐい去ることができなかった▼誠実に生きることが、富や権力に勝って大切なものであるということを肝に銘じた旅であった。

(H.N)